

# 液柱型圧力計

オー

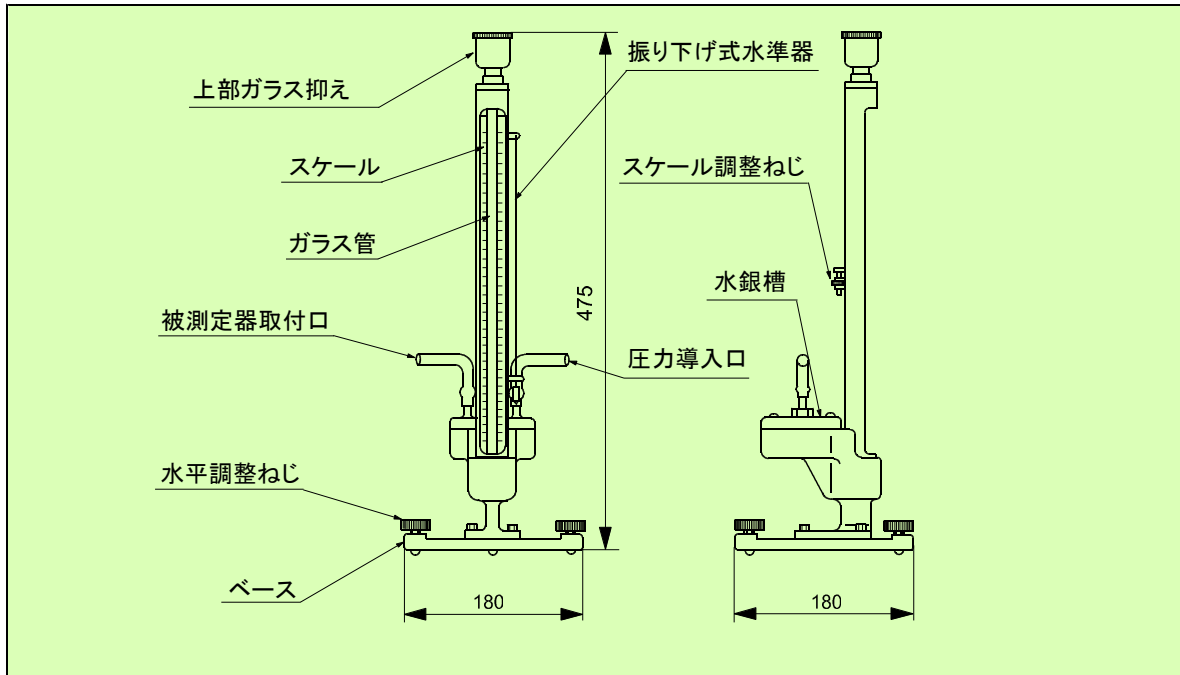


## 血圧計用基準器



オ二

○型液柱型圧力計は、デジタル血圧計・アネロイド型血圧計・水銀柱式血圧計等の検査に用いる基準器として高精度を誇るもので、単管式液柱型圧力計のポータブルタイプとしてコンパクトに設計され、血圧計用基準器として最も信頼のおける製品です。また、標準用液柱型圧力計としてもご使用できます。本器は、携帯に便利な格納箱に収納されています。なお、基準器として基準器検査成績書も添付できます。



圧力の範囲	目量	精度	本器の質量
0 ~ 300 mmHg	1 mmHg	± 0.75 mmg	本体 9 kg 格納箱 4 kg
0 ~ 40 kPa	0.2 kPa	± 0.1 kPa	

### O型 液柱型圧力計 使用説明

#### 1. 水平調整

本器ベースの3カ所の水平調整ねじで液柱型圧力計の振り下げ式水準器により水平を出します。

#### 2. 零点調整

ゴム球頭部のバルブを開け、スケール調整用ねじを回してスケールを上下にスライドさせスケールの目盛線(零点)と水銀の頂点とを一致させます。

#### 3. 加圧操作

圧力取出口のゴム管に測定を行う血圧計等を接続してゴム球により加圧します。ゴム球の頭部にあるバルブを閉じて静かに握り圧力を加えることによって水銀が上昇し液柱型圧力計の値と血圧計等の値を比較測定できます。減圧測定(戻りの測定)は、ゴム球の頭部にあるバルブをゆっくり開くことによって水銀が下降し液柱型圧力計の値と血圧計等の値を比較測定できます。

#### 4. 作業終了後の零点確認

減圧操作(戻りの測定)後にゴム球頭部のバルブを開き、大気に開放して液柱型圧力計と血圧計等の零点を確認します。

#### 5. 注意事項

加圧減圧操作は、ゆっくりと行ってください。特に最大圧力付近で急激な加圧操作を行いますと水銀が急上昇し液柱型圧力計から外部に飛び出します。

※ JCSS 校正証明書・基準器検査成績書・一般校正証明書付きがあります。



株式会社 双葉測器製作所

〒116-0012 東京都荒川区東尾久8丁目21番14号 TEL 03-3894-6848 (代表) FAX 03-3800-8155

E-mail: info@futabass.co.jp http://www.futabass.co.jp